

第6学年 国語科学習指導案

日 時 平成27年10月1日(木) 5校時
児 童 第6学年 男6名 女5名 計11名
指導者 教諭 根澤倫徳

1 単元名 命について考えよう 「海のいのち」(東京書籍6年)

2 目標

- 「海のいのち」「いのちシリーズ」を読んで、作品や表現に対する自分の考えをもち、それを意欲的に交流しようとしている。(国語への関心・意欲・態度)
- 優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。(読むこと エ)
- 課題について交流する中で、叙述をもとにして作品や筆者のメッセージに対する自分の考えを深めることができる。(読むこと オ)
- 場面の様子や優れた表現に着目し、言葉の使い方について理解することができる。(伝統的な言語文化と国語の特徴に関する事項)

3 単元について

(1) 児童について

国語の学習に意欲的に取り組み、進んで本を読む児童が多い。文学的な文章「風切るつばさ」では、登場人物の相互関係を読み取るために、会話文や行動に着目し、人物関係図にまとめ、物語全体を通じた登場人物の心情の変化を考える活動に取り組んだ。叙述をもとに考え、文や語句に着目して読み取れるようになってきたが、それは児童の半数ほどである。進んで意見を発表する児童が多く、友達と自分の違いを意識して賛成したり、付け足したりしながら自分の考えをまとめることはできるようになってきた。

そこでこの単元では、叙述をもとに作者の作品に込めた思いを読み取るとともに、交流を通して自分の読み取ったことと友達の読み取ったことを比べながら、自分の考えを深めたり広げたりする力を育てていきたいと考える。物語の全体を読んだ後、登場する人物について、行動や会話や優れた叙述などに着目して物語を読む力を育てていきたい。また、命シリーズの本を読み、作者が最も強く語りかけてきたことを考え、読書のジャンルを広げたり、読書を通して自分の生き方を考えたりしながら、読書生活を豊かにしていきたいと考える。

(2) 位置づけた言語活動について

本単元では、「C 読むこと」の「内容(1)エ 登場人物の相互関係や心情、場面について描写をとらえ、優れた叙述についての自分の考えをまとめること」を重点目標とする。そのために、言語活動例ア「伝記を読み、自分の生き方について考えること」を具現化し、「命をテーマとする読書座談会」を言語活動に設定した。

(3) 研究に関わる手立て

手立てⅠ 付けたい力を明確にした言語活動の具現化を図る

【本単元で身につけさせたい力】

- C 読むこと： エ 優れた叙述について自分の考えをまとめること
オ 課題について交流する中で、叙述をもとにして作品や筆者のメッセージに対する自分の考えを深めること

【設定した言語活動及びその特徴】

言語活動：命をテーマとする読書座談会をする

(言語活動例ア)

特徴：「読書座談会」には、

- ①登場人物の生き方について自分の考えをもって読むこと
- ②作者が最も強く語りかけてきたことについて自分の考えをもつこと
- ③自由に発言しながら、グループで交流する活動

相手：学級の友達

目的：読書座談会を通して、命について自分の考えを広めたり深めたりする。

児童の思い：読書座談会で、命について自分の考えを発表したい。みんなの考えを聞きたい。

能力：・本を選ぶ力

- ・登場人物の行動や会話に着目して読み、登場人物の心情を読み取る力
- ・読みの視点を持って物語を読む力
- ・最も強く語りかけてきたことを叙述をもとにまとめる力
- ・相手の考えを受け止める力

手立てⅡ 自分の思いや考えをつむぎ合う活動の充実を目指す

毎時間の「深める」の段階で、読書座談会をするために登場人物の気持ちや最も強く語りかけているところを考える活動で、なぜそう考えたのか、理由を叙述に即して発表する活動を取り入れることで、場面の様子や登場人物の気持ちを想像できると考える。また、読みを深めるために、教師が着目させたい文や言葉を取り上げてみんなで考え、考えを出し合いつむぎ合うことでさらに登場人物の気持ちを想像しながら作者の思いやメッセージを読む力が身につくと考える。

4 単元の評価規準

- 作品を読んで登場人物のつながりや心情、生き方や考え方について自分の考えをもって読もうとしている。(国語への関心・意欲・態度)
- 作品を象徴していたり、作者のメッセージを暗示していたりする叙述について、自分の考えをまとめている。(読む能力 エ)
- 作品から受けたメッセージについて考えをまとめ、読書座談会により広げたり深めたりしている。(読む能力 オ)
- 場面の様子や優れた表現に着目し、言葉の使い方をについて理解している。(言語についての知識・理解・技能)

5 単元の指導構想（10時間 本時7/10）

| 過程 | | 学習活動 | | 具体的評価規準 | 指導にあたって |
|-----|-----|--|------|--|---|
| 見通す | 1 | ○単元全体の学習の見通しを持つ。 ○「いのち」に関する本を読み、交流を通して「命」について考えて行くという単元のゴールを知らせる。 | 先行読書 | 関いのちシリーズを読んで、「いのち」について考えるというゴールを理解し、見通しをもって学ぼうとしている。 | ・「海のいのち」を読んで「読書座談会」することを知らせる。さらに「いのちシリーズ」を読んで「読書座談会」することを知らせ、学習への意欲につなげる。 |
| | 2 | ○「海のいのち」を通読し、大体的内容をとらえる。 | | 読叙述をもとにしながら場面構成をつかもうとしている。 | ・時や場所を表す言葉をもとに、物語の場面構成を考えさせながら、大まかな内容をとらえさせる。 |
| 深める | 3 | ○登場人物の相互関係をつかむ。（読書座談会のための読み取り） | 並行読書 | 読叙述をもとに登場人物の相互関係をつかもうとしている。 | ・登場人物の心情をとらえながら、相互関係を考えさせる。 |
| | 4 | ○登場人物の相互関係の読書座談会をする。 | | 読前時読み取ってまとめた登場人物の相互関係について自分の考えを伝えている。 | ・読書座談会では、司会など分担を決めて、話し合いをさせる。 |
| | 5・6 | ○「海のいのち」で最も強く語りかけてきたことをまとめる。 | | 読最も強く語りかけてきたところとその理由を叙述から読んでいる。 | ・登場人物の会話文や行動に着目しながら、叙述をもとに自分の考えをまとめさせる。 |
| | 7本時 | ○「海のいのち」の読書座談会をする。 | | 読「海のいのち」の叙述をもとに自分が考えたことを伝えている。 | ・読書座談会では、司会など分担を決めて、話し合いをさせる。 |
| 広げる | 8 | ○いのちシリーズから選んで読書座談会の準備をする。 | 並行読書 | 読最も強く語りかけてきたところと理由を作品の叙述から見つけている。 | ・登場人物の相互関係をとりえながら考えさせる。 ・第2次の学習を生かして自分の考えをまとめさせる。 |
| | 9 | ○自分が選んだ作品で読書座談会をする。 | | 読自分が選んだ作品の叙述をもとに自分の考えを伝えている。 | ・自分の考えと友達の考えの共通点や相違点を考えながら、話し合いをするようにさせる。 |
| | 10 | ○自分が選んだ作品で読書座談会をする。 | | 関「読書座談会」で深めた自分の考えを振り返ろうとしている。 | ・単元を振り返り、命や生き方について見つめ直して気付いたことを考えさせる。 |

6 本時の指導(7/10)

(1)目標

- ・最も強く語りかけてきたことを意識させる叙述について、読書座談会を通して自分の考えを深め、まとめることができる。

(発言, ワークシート)

(2)展開

| | 学 習 活 動 | 支援(○)留意点(・)評価(□) 研究主題とかかわるところ (◎) | 備 考 |
|---|---|---|--------|
| つ か む (5) | 1 前時までの学習を確認する。 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 物語で最も強く語りかけてきたことを交流し、深めよう。 </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学習を振り返り、本時の学習の見通しをもたせる。(◎仮説1) ・全員で課題を読み、読み方の違いを考えて読んでいくことを意識させる。 | |
| 学 ぶ (15分) 深 め る (15分) | 3 学習課題に取り組む (1)「海のいのち」で最も強く語りかけていることを意識させる叙述について確認し、グループで交流する。 c : 海のめぐみだからなあ。 ⇒命は恵みだから、守って行かなければいけない c : 千びきに一びきでいいんだ。 ⇒命は大切にしていかなければいけない c : 海の命はまったくかわらない。 ⇒命はうけつがれていくもの (2) 交流して深まった自分の考えを書く。 (3) 全体で交流し、自分の考えをまとめる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えと友達の考えとの共通点や相違点を明らかにしながら交流させる。 ◎最も強く語りかけてきたことを叙述をもとに発表し合うことで作者の思いを考えていく。(※仮説2 めざす児童像③⑤⑥) □最も強く語りかけてきたことを叙述を明らかにしながら、自分の考えをまとめている。 ・グループ交流によって深まった自分の考えをまとめる。 ・各グループで交流した内容を全体で交流させることによって、考えを深めさせる。 | |
| ま と め る (10分) | 4 学習の振り返りをする。 ・考えが深まった理由を考える。 ・自己評価する。 5 次時の学習内容を確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○最も強く語りかけているところを交流させることが、読書座談会につながるということ意識させる。 ・次時は、いのちシリーズの中から自分で選んで、読書座談会の準備を行うことを伝え、意欲化を図る。 | |

(3) 本時の評価規準

| 目標（領域） | A 十分満足 | B 概ね満足 | C 支援の手立て |
|---|--|---|--|
| 最も強く語りかけているところを意識させる叙述について、交流を通して自分の考えを深め、まとめることができる。 | 最も強く語りかけているところを意識させる叙述について、友達のを聞いて、さらに自分の考えを深め、まとめることができる。 | 最も強く語りかけているところを意識させる叙述について、友達の自分の考えをまとめることができる。 | 友達の考えをメモを取りながら聞き、自分の考えと比べながら考えをまとめさせる。 |

(4) 板書計画

○各グループの発表

○読書座談会のポイント

- ・ 叙述をもとに自分の考えを発表する。
- ・ 自分の考えと違うところを比べながら聞く。
- ・ 友達の考えについて意見や質問をする。
- ・ 話し合いを通して自分の考えを深めることを意識する。

海の中の

物語で最も強く語りかけてきたことを
交流し、深めよう。